

兵庫県内企業限定

帰宅難民 + 停電BCP

令和元年度企業BCP策定補助金

BCP策定委託料に5万円まで県が補助

先着順



大規模災害時には帰宅困難者が発生し、県民生活への混乱を招くことが予想されています。帰宅困難者の発生予防には『むやみに移動を開始しない』など企業の協力も不可欠です。兵庫県では帰宅困難者対策を含むBCP(事業継続計画)の策定を推進すべく、その策定費用等を支援する事業を令和元年度に実施しています。

* 兵庫県：令和元年度企業BCP策定支援事業補助金の募集について、<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk37/bcpsakutei2019.html>

訪問2回パック

打合せと報告説明の計2回訪問。
簡易版停電BCPに帰宅困難を

訪問1回ミニマム

事前or事後のいずれか1回訪問。
簡易版停電BCPに帰宅困難を

講師派遣

社内研修などに講師として訪問
します。登壇経験豊富な講師陣か

2019年12月末で終了

補助金獲得を確約するものではありません。最寄鉄道駅まで交通費込、駅から指定場所までは実費精算します。税別価格です。BCPのカスタマイズ等には別途追加料金が発生します。



帰宅難民対策の重要性



2018年の大阪北部地震は通勤時間帯に発生し、多くの通勤困難者・帰宅困難者が生じ線路や幹線道路を歩く姿が報道されました。同年9月の台風21号では計画運休が実施され帰宅困難者は少なかったようです。オフィスや店舗は宿泊を想定しておらず寝床の確保は容易ではありません。備蓄していなければ食糧や簡易トイレ、毛布などありません。しかし、災害時には止まらざるを得ないかもしれません。帰らせようにも三宮から電車で15分の尼崎や明石でも徒歩4時間以上、停電すれば信号は消灯し道路は大混乱です。人が押し寄せ将棋倒しになる群衆雪崩が起きれば死傷者が出る騒ぎになります。社員を帰らせずとも安全・安心して過ごせる帰宅難民対策は、いま求められるBCPの1つです。



なぜ、停電BCP？



2018年の台風21号、2019年の台風15号ではいずれも3日目でも十万軒以上の停電が発生していました。数十年に一度の大震災より、大規模停電は身近であり数時間の停電は年に何度も発生しています。停電すれば信号消灯や電車運休などの交通混乱が発生し、帰宅難民が発生します。医療機関の停電BCPは私たちのユニークな事業です。医療機関では止められない診療がありBCPが重要な役割を果たします。そのノウハウの一部は、企業BCPにも活かすことができます。停電は被害想定がしやすく、社内でBCPをディスカッションするにはちょうど良いと考えています。非常事態に備える意識の高め、社員一同が関心事として取り組むことで事業の継続可能性も高まります。

1. まずはご連絡下さい。対象商品の見積書をお渡しします。
2. 補助金申請して下さい。申請書は当社でもご用意します。
3. 採択後にご発注下さい。ここから先は料金が発生します。
4. BCP策定用のアンケートにご回答頂き、BCPを策定します。
5. 完成品を納品します。説明付きの場合は訪問説明します。
6. 補助金利用の場合は完了報告をして補助金を受取ります。

発売元

NES株式会社 (エヌイーエス)

所在地 兵庫県伊丹市野間5-10-13

URL <http://24med365.net>メール info@24med365.net登録電気工事業者
兵庫県 第300333号